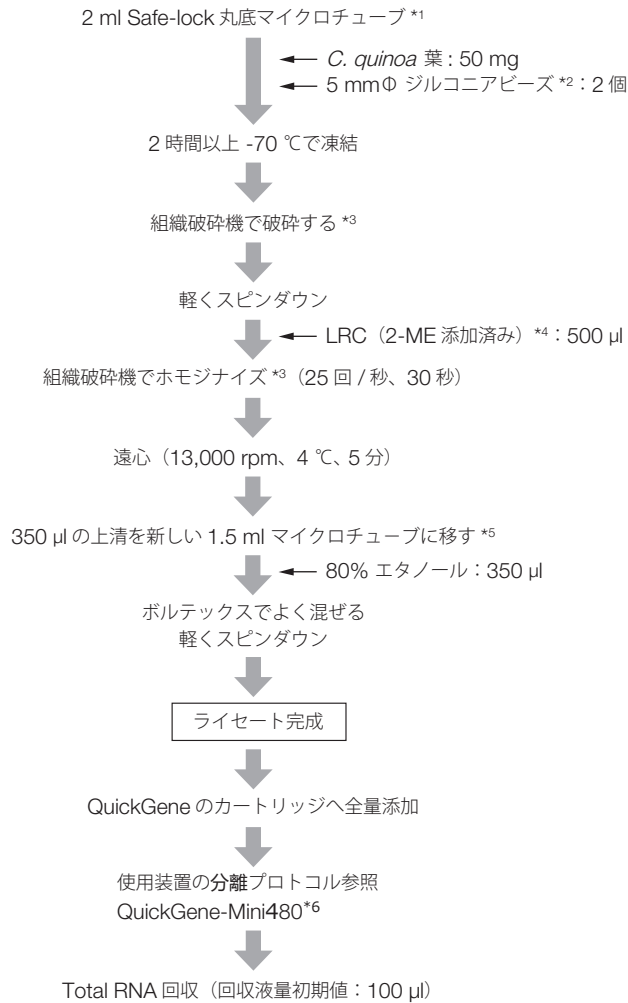


キノア（キヌア、キンワ）葉からの total RNA分離

| プロトコル



*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

*2 ニッカトー社 (NIKKATO Co.Ltd.)

*3 ティッシュライザー (TissueLyzer) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破砕法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

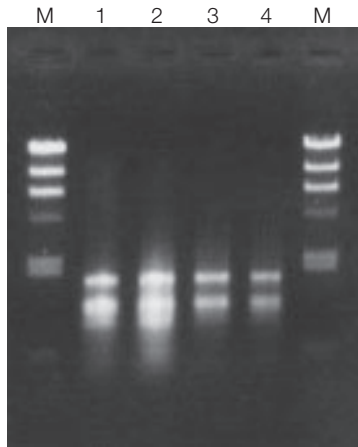
*4 1ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加えてください。

*5 繊維が多少混じっていても結果に影響しません。

*6 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

電気泳動図



電気泳動条件
0.8% アガロースゲル
TAE
2 μ l のサンプル / ウエル

M: λ -Hind III (100 ng)
1: コムギ葉 (*gramineae*)
2: オオムギ葉 (*gramineae*)
3: *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)
4: *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

Total RNA の収量

<i>C. quinoa</i> 葉	3.88 μ g
--------------------	--------------

タンパク質の混入：A260/280

<i>C. quinoa</i> 葉	2.02
--------------------	------

カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

N. benthamiana 葉、オオムギ葉、コムギ葉